

前期

文系

平成 29 年度入学試験学力検査問題

地理歴史・数学 (人文・社会系, 経営学系 A 区分—90 分)

答案用紙

- ・日本史 3 枚
- ・世界史 2 枚
- ・地理 3 枚
- ・数学 2 枚

注 意

1. 監督員の合図があるまで, 問題の内容を見てはいけません。
2. 数学は, 筆記用具のほか定規, コンパスの使用を認めます。
ただし, 分度器の使用は認めません。
3. 受験番号及び氏名は, 答案用紙の所定欄に必ず記入してください。

(例) 受験番号 1234567X の場合 →

			1	2	3
4	5	6	7	X	

4. 解答には黒鉛筆またはシャープペンシルを使用し, 必ず配付された答案用紙に記入してください。なお, 世界史, 数学は裏面にも解答欄があるので注意してください。
答案用紙には, 解答に関係のないことを記入してはいけません。
5. 字数指定の設問で解答欄にマス目が用意されている場合, アルファベット及び数字は, 1 マスに 2 字記入しても構いません。
6. 問題は次に示したページにあります。
 - ・日本史 1 ページ~10 ページ
 - ・世界史 11 ページ~18 ページ
 - ・地理 19 ページ~30 ページ
 - ・数学 31 ページ~32 ページ
7. 試験中に不鮮明な印刷等に気付いた時は, 手をあげて監督員に申し出てください。
8. 答案用紙を切り取ったり, 持ち帰ったりしてはいけません。
9. 問題冊子の余白は利用可能ですが, どのページも切り離してはいけません。
10. 問題冊子は, 持ち帰ってください。また, 試験終了時刻まで退室できません。

世界史

1 次の文章を読んで、以下の問い(1～4)に答えなさい。

預言者ムハンマドの時代にアラビア半島の大半を支配下に収めたイスラーム勢力は、その後も各地で力を伸ばしていった。西方では、711年に a 王国を滅ぼし、イベリア半島を征服した。さらに、732年にフランク領内に侵入したが、 b の戦いにおいて大敗を喫してその進撃は止まった。しかし、15世紀末までイベリア半島に一定の支配領域を維持した。

イスラーム勢力は、東方では、642年の c の戦いにおいて d 朝(1)ペルシア帝国に大勝し、滅亡に追い込んだ。さらに東進して、751年に中央アジア北部のタラス河畔の戦いで e 軍と戦い勝利した。その後も東方および南方に対する拡大が続いた。

d 朝ペルシア帝国と異なり、ビザンツ帝国はシリアとエジプトの支配権を失ったものの、イスラーム勢力の勃興後も存続した。しかし、両者は常に緊張関係にあった。726年、ビザンツ皇帝 f が発した命令は波紋を引き起こしたが、その背景にはこうしたイスラーム勢力との抗争があった。(2)

このように、イスラーム勢力の台頭によって、世界各地の政治・宗教の情勢は大きく変わったのであった。一方、イスラーム勢力の内部では、661年に初の世襲王朝の g 朝がシリアの h を都として成立した。しかし、やがて高まる不満の中で g 朝は750年に倒され、あらたにアッバース朝がおこった。(3)

問 1 空欄 a ~ h に適切な語句を入れなさい。

問 2 下線部(1)について、この王朝の国家宗教の名称を記し、その宗教の特徴を 100 字以内で説明しなさい。

問 3 下線部(2)について、命令の名称を記し、60 字以内で具体的に説明しなさい。

問 4 下線部(3)について、不満を高めていった集団の名称を 1 つ記し、その集団について 60 字以内で具体的に説明しなさい。

2

次の文章を読んで、以下の問い(1～4)に答えなさい。

15世紀の地中海世界において、キリスト教勢力とイスラーム勢力による支配領域には大きな変化が見られた。西方のイベリア半島では、1479年、 とアラゴンの両王国が合併して、スペイン王国が誕生した。カトリック両王と呼ばれた とフェルナンドは、以後共同統治を行い、1492年には、イベリア半島におけるイスラーム勢力最後の拠点である 朝のグラナダ王国を滅ぼし、レコンキスタを完成させた。同年 は、スペイン王国全土からイスラーム教徒のみならず 人を追放し、過酷なキリスト教化を進めた。その後、カトリック両王は、国王 の統治下で王権を強化したポルトガルと競いながら、大西洋への本格的進出を始めることになった。

東方では、1291年に十字軍国家の最後の砦であった が陥落し、イスラーム世界における西欧の飛び地は消滅した。その後の東地中海世界で活躍したヨーロッパの勢力は、東方貿易を支配したヴェネチアと黒海貿易に従事した の商人であった。しかし、ヴェネチア、 の支配は、都市国家によるいわば点の支配であり、面の支配ではなかった。その後、諸勢力が分立した東地中海で台頭したのがオスマン帝国であった。オスマン帝国は、14世紀にアナトリアに支配を確立したのち、バルカン半島に進出した。スルタンの は、1453年にコンスタンティノープルを陥落させ、ビザンツ帝国を滅ぼすとともに、東地中海の覇者となった。このように、15世紀末には、地中海の西と東にスペイン王国とオスマン帝国という大国が出現し、両者は、続く⁽²⁾16世紀に地中海の覇権をかけて戦うことになるのである。

問 1 空欄 a ～ h に適切な語句を入れなさい。

問 2 下線部(1)について、スペインに先駆けて行われたポルトガルの世界進出について以下の4つの語句をすべて用いて130字以内で説明しなさい。使用した語句には下線を引くこと。

〔語句〕 エンリケ 香辛料 カリカット カブラル

問 3 下線部(1)について、ローマ教皇により設定された教皇子午線(植民地分界線)に基づき、1494年に両国の間で結ばれた条約名を記しなさい。

問 4 下線部(2)について、16世紀に地中海の覇権をめくり両国が関わって行われた二つの海戦とその結果について、以下の5つの語句をすべて用いて150字以内で説明しなさい。使用した語句には下線を引くこと。

〔語句〕 スレイマン1世 フェリペ2世 ヴェネチア 1538年 1571年

3

次の文章を読んで、以下の問い(1～4)に答えなさい。

1684年、清が海禁政策をゆるめると、ヨーロッパ諸国の商人たちは中国貿易⁽¹⁾にのりだした。清は1757年、対外貿易を [a] に限定し、これを [b] とよばれる特許商人組合に管理させた。18世紀後半、イギリスは中国貿易をほぼ独占しており、使節を派遣して市場拡大と [b] の廃止を清に求めたが、清はこれを拒否した。1840年、イギリスはアヘン戦争をおこし、勝利した。この結果結ばれた南京条約など一連の条約により、清はイギリスに対し、 [c] の割譲、 [b] の廃止、賠償金の支払い、上海など五港の開港⁽²⁾のほか、領事裁判権、 [d] 、片務的最恵国待遇といった不平等条項を認めることとなった。1844年、清はアメリカと望厦条約、フランスと [e] を結ぶが、両条約とも不平等条項を含んでいた。

開港場では信教の自由が認められ、キリスト教宣教師による布教活動が行われるようになった。中国では唐代にキリスト教の一派である [f] が伝えられていた。16世紀半ばには、 [g] による布教活動が行われるようになり、彼らは天文学・地理学・数学などのヨーロッパの科学技術や知識も中国にもたらした。清も円明園の設計に加わった [h] などの宣教師を技術者として重用したが、雍正帝は1724年、キリスト教布教を全面的に禁止した。その後、開港場⁽³⁾での布教の承認から、天津条約、北京条約を経て、キリスト教の内地布教が認められた。これ以後、キリスト教宣教師による布教活動は全国的に展開されるが、これを排斥する [i] が各地で発生した。

問 1 空欄 a ~ i に適切な語句を入れなさい。

問 2 下線部(1)について、1684年に海禁政策がゆるめられた理由を50字以内で説明しなさい。

問 3 下線部(2)の結果、とくに中国南部では、失業者の増加や民衆の窮乏化が生じた。以下の4つの語句をすべて用いて、その理由を120字以内で説明しなさい。使用した語句には下線を引くこと。

〔語句〕 銀 税 貿易の中心地 地域経済

問 4 下線部(3)の出来事に先立ち、カトリック教会内部では布教方法をめぐる論争がおこった。この論争の名称を記し、論争の中で何が問題となったか80字以内で説明しなさい。

4

次の文章を読んで、以下の問い(1～4)に答えなさい。

第二次世界大戦が終結するころから、アメリカ合衆国とソ連との関係が次第に冷却し始め、戦後にはアメリカ合衆国を中心とする資本主義諸国(西側)とソ連を中心とする社会主義諸国(東側)との間での対立が深まっていった。直接の軍事的対決には至らないものの、世界を二分したこの対立は、「冷たい戦争」(冷戦)と呼ばれるようになった。

フランス・イタリアや東欧諸国では、第二次世界大戦でヨーロッパを解放したソ連の影響をうけて共産党勢力が拡大した。とくに戦後の東欧では、ソ連型の社会主義を目指す人民民主主義の体制が形成された。⁽¹⁾ こうした動きにアメリカ合衆国は危機感を抱くようになり、1947年3月、大統領 は = ドクトリンを⁽²⁾発表した。さらに同年6月、アメリカ合衆国國務長官 が、ヨーロッパの経済復興を目指した計画を発表した。こうした動きに対抗して、同年10月にソ連は、各国共産党の連絡調整機関として を設立した。

冷戦は次第に構造化の様相を示し始め、ヨーロッパの資本主義諸国が1948年3月に締結した 条約(ブリュッセル条約)にアメリカ合衆国やカナダが加わる形で、1949年には集団的防衛組織としての が結成された。一方、社会主義陣営では、各国の経済関係を緊密化する目的で が組織された。第二次世界大戦の敗戦国として、アメリカ合衆国・イギリス・フランス・ソ連に分割占領されたドイツでは、東西対立の中で分断化が進み、1948年6月にはベルリン封鎖が行われた。⁽³⁾ こうした動きを経て、1949年にはドイツ連邦共和国とドイツ民主共和国の二つの国家が成立した。資本主義陣営に属したドイツ連邦共和国では再軍備が目指され、同国は1955年に に加盟した。これに対してソ連・東欧諸国は、 を結成して軍事的にも資本主義陣営に対抗する姿勢を示した。

- 問 1 空欄 a ~ g に適切な語句を入れなさい。
- 問 2 下線部(1)について、この状況の中で東西両陣営の間で独自の路線を追求した東欧地域の国の名を記し、その国で 1948 年 2 月に起こった出来事とその帰結を 30 字以内で説明しなさい。
- 問 3 下線部(2)について、このドクトリンの内容と目的について 70 字以内で説明しなさい。
- 問 4 下線部(3)について、封鎖開始の契機とその後の経緯およびその帰結を 100 字以内で説明しなさい。